



広報

# はびきの 号外

発行日 2019年(令和元年)7月6日(土)

発行元 羽曳野市 市長公室 秘書課/世界文化遺産推進室

「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産一覧表への記載決定特別広報

## 「百舌鳥・古市古墳群」 羽曳野市・堺市・藤井寺市

# 世界文化遺産登録決定



▲応神天皇陵古墳=古市古墳群最大の前方後円墳で、墳丘長約425メートルを誇る。



この度、「百舌鳥・古市古墳群」が大阪初の世界文化遺産として認められましたことを、大変嬉しく思います。

市民の皆様、また、これまでの12年間の取り組みにご尽力をいただいた議員ならびに関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

本市は、今日から、世界遺産と日本遺産のあるまちとなります。貴重な歴史的遺産をしっかりと次世代に引き継いでいくとともに、今後も、大阪府、堺市、藤井寺市をはじめ、近隣自治体と連携しながら、より一層魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

羽曳野市長 北川嗣雄

### 世界遺産決定報告に市民沸く

「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産一覧表への記載が、アゼルバイジャンの首都バクーで開催されている第43回世界遺産委員会にて、7月6日に正式に決定された。登録への取り組みから12年の歳月を経て、大阪初となる世界遺産が誕生することになる。

LICはびきので開かれたパブリックビューイングでは、この日を待ち望んだ関係団体や多くの市民が固唾を呑んでスクリーンを見守った。

4度目の正直の国内推薦、そして世界遺産一覧への登録が適当との勧告が発表され、ついに『決定』の瞬間が訪れた。

スクリーンには「百舌鳥・古市古墳群」の決議案が採択されたことを議長が宣言し、ガベル(木槌)が叩かれた場面が映し出されると、会場では大きな歓声がわき上がった。

### 歴史のまちを体感する

世界遺産「古市古墳群」と日本遺産「竹内街道」の2大遺産の歴史が交差するまち。

羽曳野市は、古市古墳群構成資産の白鳥陵古墳の目の前、竹内街道沿いにある浅野家住宅(旧オキナ酒造場)

### 市民の暮らしのそばに

をリノベーションし、観光・産業・交流拠点として整備をすすめる。まちの特産品(ぶどう、いちじく、ワイン、梅酒、食肉など)を堪能できるレストランや、世界遺産、日本遺産、オキナ酒造場の歴史を振り返る展示スペースなどを設け、2020年度中の完成を目指している。

千数百年もの間、地域住民の手で守られてきた古墳群。世界遺産となり、新しい時代を迎えても、「古市古墳群」は人々の暮らしの中にあり続ける。大阪府、羽曳野市、堺市、藤井寺市とが連携し遺産の



▲世界遺産「古市古墳群」を眼前に、日本遺産「竹内街道」沿いにある浅野家住宅(旧オキナ酒造場)を新たな観光・産業・交流の拠点に。(羽曳野市軽里)

保全とその価値の発信にこれからも尽力していく。

【お問い合わせ】

市世界文化遺産推進室  
072・958・1111  
内線4400〜4405

七夕祭 7月7日(日) 15:00から  
古市駅東広場で開催

☆世界文化遺産登録記念ブースを設け、記念撮影や、アンブレラスカイで使用しているものと同様の7色のビニール傘をこども達へ配布(限定400本)するなど、世界遺産登録をさらにお祝いするイベント等を開催します。